



(財)財務会計基準機構会員

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 三共生興株式会社
 コード番号 8018
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木 秀夫
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 岡田 登
 社長室統括マネージャー 下川 浩一
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東証一部・大証一部
 URL <http://www.sankyoseiko.co.jp>
 TEL (06) 6268-5188

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
21年3月期第3四半期	33,199 -	1,358 -	1,270 -	45 -
20年3月期第3四半期	36,829 3.9	803 △44.1	836 △43.9	△895 -

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	0 94	- -
20年3月期第3四半期	△18 66	- -

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	55,862	21,968	38.7	449 63
20年3月期	64,205	27,768	42.7	571 31

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 21,624百万円 20年3月期 27,414百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				年間
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	- -	- -	- -	12 50	12 50
21年3月期	- -	- -	- -	- -	12 50
21年3月期(予想)	- -	- -	- -	12 50	- -

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	43,000△11.8	600 -	350 -	△900 -	△18 71

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
 [(注) 詳細は、7 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
 ① 会計基準等の改正に伴う変更： 有
 ② ①以外の変更： 無
 [(注) 詳細は、7 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | |
|----------------------|------------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 21 年 3 月期第 3 四半期 | 60,000,000 株 |
| | 20 年 3 月期 | 60,000,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 21 年 3 月期第 3 四半期 | 11,906,845 株 |
| | 20 年 3 月期 | 12,013,638 株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） | 21 年 3 月期第 3 四半期 | 48,093,466 株 |
| | 20 年 3 月期第 3 四半期 | 47,986,679 株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度から「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

5. 平成 21 年 3 月期の個別業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通 期	百万円 % 23,000△27.0	百万円 % 1,300 △30.2	百万円 % 1,450 △29.5	百万円 % 780 —	円 銭 16 22

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有
 詳細は、6 ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】**1. 連結経営成績に関する定性的情報**

当第 3 四半期連結累計期間（平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日）における我が国経済は、アメリカ、欧州を中心とした世界的な金融危機の深刻化や株式、為替市場の大幅な変動を背景とする世界経済の減速や需要の落ち込みによって、企業の輸出および生産が大幅に減少するなど景気の後退感が鮮明となってまいりました。

当社グループを取り巻く環境についても、企業業績の不振による雇用情勢の悪化や個人所得の伸び悩みに加え、金融市場の混乱を受けた逆資産効果等の影響を受け、急激な消費マインドの悪化から主力販売先である百貨店での高額衣料品販売が一層落ち込むなど厳しい状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、基幹ブランドに経営資源を集中させ、より一層の経費削減を行うなど効率的な事業展開に注力してまいりました。また、顕在化する消費者の選別志向に合致した質の高いライフスタイルを提供する企業グループを目指し、意思決定の迅速化および業務の効率化を図るなど経営基盤の強化に努めてまいりました。

これらの結果、当第 3 四半期連結累計期間は、売上高は 33,199 百万円、営業利益は 1,358 百万円、経常利益は 1,270 百万円、四半期純利益は 45 百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

ファッション関連事業

国内事業につきましては、景気の後退による消費マインドの悪化から主力販売先である百貨店での衣料品販売が極端に落ち込むなど、より一層厳しい状況で推移いたしました。このような状況のなか、基幹ブランドへの経営資源の集中を行い、不採算店舗からの撤退、不良在庫の圧縮やリストラを含めた諸経費の削減を実行するなど、来期に向けての経営基盤の強化に努めてまいりました。

一方、海外事業につきましては、世界同時不況にもかかわらず、香港、中国、台湾を中心としたアジア市場においては比較的好調に推移し、現地通貨ベースでは香港支店は増収、台北支店もほぼ横ばいとなりました。しかしながら、為替市場の混乱による急激な円高の影響を受け、円換算では収益は目減りする結果となりました。

また、英国ダックス社につきましては、ライセンスビジネスに特化させた事業展開を行うために、かねてより推進してまいりました抜本的な構造改革がほぼ完了し、来期に向けての経営基盤の確立を図ることができました。

以上の結果、当事業全体の売上高は 16,648 百万円、営業利益は 1,175 百万円となりました。

繊維関連事業

当事業につきましては、景気のさらなる下振れ懸念から消費者の購買意欲の減退を背景とした百貨店アパレルの販売不振を受けて、売上高、営業利益はともに苦戦いたしました。しかしながら、意思決定の迅速化、業務の効率化を目指し、当社内繊維カンパニーを平成 20 年 10 月 1 日付で三共生興アパレルファッション株式会社として分社独立させ、効率的な事業運営を行い、今後の収益構造の強化に邁進してまいりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は 8,774 百万円、営業損失は 145 百万円となりました。

生活関連事業

当事業のリビング事業につきましては、景気後退による百貨店売上高の減少から、高額リビング商品およびギフト商品の販売がともに苦戦いたしました。また、新規ブランドである「ニナ リッチ」および「DKNY」に係る諸費用の先行もあり、厳しい状況で推移いたしました。

当事業のホームファッション事業につきましては、企画力のある商品提案を行うなど、パジャマ、生活雑貨を中心としたOEM事業を中心に売上高、営業利益ともに堅調に推移いたしました。

当事業のロフテー株式会社につきましては、景気の後退を受けて百貨店売上高が減少するなか、積極的なメディア戦略が功を奏し、健康志向を追い求めた「ロフテー枕工房」での販売が健闘し、売上高、営業利益ともに比較的順調に推移いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は 6,907 百万円、営業利益は 107 百万円となりました。

不動産賃貸事業

当事業のグループ保有の大阪・東京・神戸等に立地する賃貸用ビルを活用した不動産賃貸事業および貸イベントホール事業につきましては、業界を取り巻く環境はますます厳しくなる中、賃貸用ビルはフルテナントを維持し、貸イベントホールも堅調に推移するなど、収益面において貢献いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は 1,874 百万円、営業利益は 783 百万円となりました。

その他の事業

当事業の物流倉庫業、ビルメンテナンス業等におきましては、売上高は 1,092 百万円、営業損失は 32 百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末の資産合計は 5 5, 8 6 2 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 8, 3 4 3 百万円の減少となりました。これは株価の下落により投資有価証券の含み益が減少したこと、また、減価償却により有形固定資産が減少したことなどが主なものであります。

負債合計は 3 3, 8 9 3 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2, 5 4 3 百万円の減少となりました。これは株価の下落を受け、投資有価証券の含み益が減少したことに伴う繰延税金負債の減少などが主なものであります。

純資産合計は 2 1, 9 6 8 百万円となり、結果、自己資本比率は 3 8. 7 %、1 株当たり純資産額は 4 4 9 円 6 3 銭となっております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 20 年 11 月 7 日の第 2 四半期決算発表時に公表いたしました、平成 21 年 3 月期の連結及び個別の業績予想（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）を下記のとおり修正しております。

（金額の単位：百万円）

(1) 平成 21 年 3 月期の通期連結業績予想数値の修正
（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 44,300	百万円 950	百万円 850	百万円 100	円 銭 2 08
今回発表予想(B)	43,000	600	350	△900	△18 71
増減額(B-A)	△1,300	△350	△500	△1,000	—
増減率(%)	△2.9	△36.8	△58.8	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月期)	48,772	△191	△359	△2,402	△50 07

(2) 平成 21 年 3 月期の通期個別業績予想数値の修正
（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 23,000	百万円 1,450	百万円 1,750	百万円 950	円 銭 19 75
今回発表予想(B)	23,000	1,300	1,450	780	16 22
増減額(B-A)	—	△150	△300	△170	—
増減率(%)	—	△10.3	△17.1	△17.9	—
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月期)	31,521	1,862	2,056	△4,180	△87 11

修正の理由につきましては、本日発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

㊦ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

主として、当第 3 四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において算定した貸倒実績率を使用して一般債権の貸倒見積高を算定する方法によっております。

㊧ 棚卸資産の評価方法

当第 3 四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第 2 四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎とした、継続記録による帳簿棚卸高により算定しております。

また、当第 3 四半期連結会計期間末における棚卸資産の評価に関しては、収益性の低下が明らかなものについては正味売却価額を見積り、棚卸資産より一括して控除する方法によっております。

㊨ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号 平成 19 年 3 月 14 日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号 平成 19 年 3 月 14 日）を第 1 四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第 9 号 平成 18 年 7 月 5 日）を第 1 四半期連結会計期間から適用しております。

これによる当第 3 四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

③ 「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第 13 号 改正 平成 19 年 3 月 30 日）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 16 号 改正 平成 19 年 3 月 30 日）が平成 20 年 4 月 1 日以降開始する連結会計年度に係る四半期財務諸表から適用できることになったことに伴い、第 1 四半期連結会計期間から同会計基準及び同会計基準の適用指針を適用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる当第 3 四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

- ④ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第 18 号 平成 18 年 5 月 17 日) を第 1 四半期連結会計期間から適用しております。
これによる当第 3 四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,326	4,902
受取手形及び売掛金	8,344	9,169
商品	4,892	5,199
製品	391	256
原材料	348	269
仕掛品	15	40
その他	518	621
貸倒引当金	△30	△32
流動資産合計	20,807	20,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,671	11,139
土地	3,988	3,988
その他(純額)	978	1,169
有形固定資産合計	15,638	16,298
無形固定資産		
商標権	4,651	6,130
その他	185	254
無形固定資産合計	4,837	6,385
投資その他の資産		
投資有価証券	13,154	19,785
その他	2,163	1,983
貸倒引当金	△739	△675
投資その他の資産合計	14,578	21,093
固定資産合計	35,055	43,777
資産合計	55,862	64,205

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,041	6,353
短期借入金	16,189	16,314
1年内返済予定の長期借入金	359	359
未払法人税等	125	230
未払費用	1,103	1,217
役員賞与引当金	—	41
返品調整引当金	182	525
事業整理損失引当金	54	126
その他	998	576
流動負債合計	26,053	25,745
固定負債		
長期借入金	1,457	1,726
長期未払金	818	835
繰延税金負債	3,845	6,447
退職給付引当金	592	599
負ののれん	140	224
その他	986	858
固定負債合計	7,840	10,691
負債合計	33,893	36,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,165	6,174
利益剰余金	16,553	17,108
自己株式	△4,422	△4,462
株主資本合計	21,297	21,820
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,211	7,870
繰延ヘッジ損益	△156	△14
為替換算調整勘定	△3,728	△2,261
評価・換算差額等合計	327	5,594
少数株主持分	344	353
純資産合計	21,968	27,768
負債純資産合計	55,862	64,205

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	33,199
売上原価	19,684
売上総利益	13,514
販売費及び一般管理費	12,155
営業利益	1,358
営業外収益	
受取利息	71
受取配当金	356
負ののれん償却額	96
その他	91
営業外収益合計	616
営業外費用	
支払利息	319
為替差損	199
その他	185
営業外費用合計	704
経常利益	1,270
特別利益	
賃借権譲渡益	156
投資有価証券売却益	12
貸倒引当金戻入額	6
特別利益合計	175
特別損失	
投資有価証券評価損	356
特別退職金	113
減損損失	103
特別損失合計	573
税金等調整前四半期純利益	872
法人税、住民税及び事業税	636
法人税等調整額	176
法人税等合計	812
少数株主利益	14
四半期純利益	45

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	872
減価償却費	783
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△343
投資有価証券評価損益 (△は益)	356
減損損失	103
特別退職金	113
受取利息及び受取配当金	△427
支払利息	319
売上債権の増減額 (△は増加)	552
仕入債務の増減額 (△は減少)	727
その他	158
小計	3,216
利息及び配当金の受取額	421
利息の支払額	△331
法人税等の支払額	△768
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,538
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△387
その他	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△373
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	628
長期借入金の返済による支出	△269
配当金の支払額	△603
その他	30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△213
現金及び現金同等物に係る換算差額	△527
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,423
現金及び現金同等物の期首残高	4,902
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,326

当連結会計年度から「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第 3 四半期連結会計期間 (自 平成 20 年 10 月 1 日 至 平成 20 年 12 月 31 日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 12 月 31 日)

	ファッション 関連事業 (百万円)	織 維 関連事業 (百万円)	生 活 関連事業 (百万円)	不 動 産 賃貸事業 (百万円)	そ の 他 の 事 業 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又 は 全 社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対 する売上高	16,413	8,216	6,866	1,360	342	33,199	—	33,199
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	235	558	40	514	750	2,099	(2,099)	—
計	16,648	8,774	6,907	1,874	1,092	35,298	(2,099)	33,199
営業利益又は 営業損失(△)	1,175	△145	107	783	△32	1,889	(530)	1,358

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 12 月 31 日)

該当事項はありません。

【参考資料】

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 四半期連結損益計算書

科 目	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 12 月 31 日)	
	金 額 (百万円)	
I 売上高		36,829
II 売上原価		22,076
売上総利益		14,753
III 販売費及び一般管理費		13,949
営業利益		803
IV 営業外収益		
1 受取利息	85	
2 受取配当金	352	
3 負ののれん償却額	84	
4 その他	91	612
V 営業外費用		
1 支払利息	345	
2 為替差損	36	
3 その他	197	579
経常利益		836
VI 特別利益		
1 貸倒引当金戻入額	9	9
VII 特別損失		
1 役員退職慰労金	863	
2 事業整理損失	92	
3 減損損失	9	
4 固定資産除却損	5	970
税金等調整前 四半期純損失(△)		△124
法人税、住民税 及び事業税	782	
法人税等調整額	△39	743
少数株主利益		27
四半期純損失(△)		△895

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第 3 四半期連結累計期間（自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 12 月 31 日）の四半期連結キャッシュ・フロー計算書につきましては、前年度の「平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況」において開示しておりませんので記載を省略しております。

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第 3 四半期連結累計期間（自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 12 月 31 日）

	ファッション 関連事業	織 維 関連事業	生 活 関連事業	不 動 産 賃 貸 事 業	そ の 他 の 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売上高(百万円)	19,236	9,907	6,930	1,819	1,240	39,134	(2,304)	36,829
営業費用(百万円)	18,784	9,872	6,756	1,111	1,187	37,712	(1,685)	36,026
営業利益(百万円)	452	35	174	707	52	1,422	(619)	803

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。